本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル 臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ

Über die Entfernung Zwischen Naseneingang und pharyngeale Tubenmündung
bei Japanern. Dr. Oyama.

大阪府立高等醫學校耳鼻咽喉科教室

醫學士 小山 景 治

歐氏管「カテーテル」ノ挿入法ハ千七百二十四年佛人グヨー氏 Guyot ノ初メテ唱道セシモノニシテ當時ハ管ヲ口腔ヨリ歐氏管ニ插入セシモノニシテ之ヲ鼻腔ヨリ行ヒシハアルヒバルト氏 Archibald 及ビクレランド氏 Cleland ヲ以テ嚙矢トス其後該法ノ診斷及ビ治療上ノ必要ヲ唱ヘシハザツシー氏 Saccisy イタルト氏 Hard 及ビデイロー氏 Deleau ヲ初メトシテクロー氏 Kun クラーメル氏 Kramer チエルツタイー氏 Cerutti フォントレルチュ氏 v. Trötsch 等ニシテ同時ニ其應用上ニ對スル適應症ヲモ確定セリ抑々此挿入法ニ際シテ第一ニ吾人ノ注意ヲ惹起スルモノハ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル距離ナリ然ルニ此距離タルヤ一般ニ男女兩性ニヨリテ異ナリ又頭蓋骨形成ノ如何ニヨリテ非常ナル軒輊ヲ視

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

四〇

ルノミナラズ上顎突齒人(Prognathen)ニアリテハ大ナリト、故ニポリツチエル氏 Politzer ハザバチー
ル氏 Sabatier ノ主唱スル如クコノ距離ハ挿入法ニ對シテ利用スルコト能ハズト云ヘリ

是ニ於テ余ハ果シテポリツチエル氏ノ所說ノ如クナルカヲ確定センガ爲ニ此距離ノ測定ヲ試ミタリ余
ノ之ヲ測定スルニハ二種類ノ「カテーテル」ヲツクリ(此「カテーテル」ニ就テハ後ニ詳述スベシ)之ヲ以
テ通氣ヲナシテ其目的達セシ際ニ鼻翼縁ニテ「カテーテル」ニ標記セシナリ

後ニ「カテーテル」ニ就テ一言セント欲スルガ故ニ茲ニ從來使用セラレ又現今使用セラレツ、アル「カ
テーテル」ニ就テ聊カ記載セントス

クラメール氏ノ「カテーテル」ハ銀製ニシテ長サ一五・五仙迷ニシテ圓壩形ヲナシ前端ハ圓メラレ且百
四十四度ノ角度ヲ以テ嘴狀ヲナシ後端ハ廣ク漏斗狀ヲナス嘴狀部ノ方向ヲ知ル爲ニ一側ニ卵圓形ノ小
環ヲ附セリ氏ノ考案セシハ左ノ四種類ナリ

「カテーテル」口ノ外徑

同 内 徑

第一號

二・二五密迷

〇・五〇密迷

第二號

二・五〇密迷

一・五〇密迷

第三號

三・〇〇密迷

二・〇〇密迷

第四號

三・二五密迷

二・二五密迷

ポリツチエル氏ノ記載ニヨレバ硬護謨ニテ作りタルモノニシテ

全 長

一三・〇乃至一六・〇仙迷

嘴 長

二・〇乃至 二・五仙迷

嘴ノ彎曲度

百四十六度

後端ハクラメル氏ノモノニ類似セリ氏モ亦左記四種類ヲ舉グ其各口徑ハ左ノ如シ

第 一 號

一・五密迷

第 二 號

二・五密迷

第 三 號

三・〇密迷

第 四 號

三・五密迷

「カテーテル」壁ノ厚サハ〇・五密迷ニシテ前端ハ圓形ヲ呈ス後ニ至リテ前端ヲ卵圓形ニシテ其長キ直徑ハ嘴部ノ方向ニ直角ナルモノヲ製ス前記「カテーテル」ノ嘴部ノ平均彎曲ノ度ハ百四十五度ナリ

ヤコブソン氏 Jacobson ノ記載ニヨレバ

歐氏管「カテーテル」ハ銀、洋銀或ハ硬護謨ニテ作り其前部ハ嘴狀ヲ呈シ後端ハ圓錐狀ニ廣ガリ前端ヨリ一・五乃至二・五仙迷ノ處ニテ百四十度乃至百五十度ノ角度ヲ以テ彎曲ス即チ「カテーテル」ノ嘴狀部ト稱スルトコロナリ其他ノ構造ハ前記ノモノト同様ナリ

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

四二

「カテーテル」ノ全長ハ通常十二乃至十四仙迷ニシテ又時ニ十七仙迷ノ長キモノヲ使用セシコトアリ挿入法ノ熟練セル者ニハ短カキ「カテーテル」ノ如ク使用シ得ルト云フ然レドモ未熟ノ者ニハ長キ「カテーテル」ヨリモ短キ十二乃至十四仙迷ノ物ヲ使用スルヲ可トセリ

ルーチエ氏 Lucie ハ前記ノモノニ反シテ其後端却ツテ細小トナリ以テ二連球ヲ連續スルニ便ナラシム又氏ハ小兒ニ對シテ八十仙迷ノモノ最良ナリト云ヘリ而シテ「カテーテル」ノ外徑ヲ左ノ三種トセリ

第一號

二・〇密迷

第二號

二・五密迷

第三號

三・〇密迷

壁ノ厚サヲ四分ノ一乃至三分ノ一密迷トセリトラウトマン氏 Trautmann ノモノハ前記凡テノ「カテーテル」ヨリ長大ニシテ後端ハ漏斗狀トナレリ

全長

一五・〇乃至一六・〇仙迷

嘴長

四・〇乃至五・〇仙迷

嘴部彎曲度

百四十度乃至百五十度

口徑

一・五乃至三・〇密迷

右ノ内現今使用セラレツ、アルハトラウトマン氏及ビルーチエ式ナリ

右ノ諸種ノ「カテーテル」ヲ參考トシテ測定用ニ供スル爲ニ種類ヲ製シタリ

	全長	嘴長	彎曲度	口端ト「カテーテル」軸トノ距離	口端外徑	口端内徑
第一號	一三・〇仙迷	二・三仙迷	一四〇・〇度	一・三仙迷	二・五密迷	一・五密迷
第二號	一三・〇仙迷	二・五仙迷	一五〇・〇度	一・八仙迷	三・〇密迷	一・六密迷

而シテ右ノ「カテーテル」ニ密迷ノ度盛ヲナサシム、使用竝ニ消毒ニ際シ多少ノ變形ヲ避クル爲ニ「形ノ度器」ヲ以テ時々之ガ比較訂正ヲナセリ

又一方軟硬兩蓋ノ移行部ヨリ門齒ノ齒槽突起緣ニ至ル距離及懸壅垂底部ヨリ同所ニ至ル距離ヲ測定セリ是レ彼ルーチエ氏及イタルド氏 Icard ガ此距離ヲ以ツテ「カテーテル」插入法ニ際シテ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル距離ニ略一致スト云ヘルヲ以テナリ余ノ測定ノ際使用セシ「カテーテル」ハ前記ノ條件ニ從ヒ此ノ目盛ヲナス場合ニ「カテーテル」軸ト平行ニ「カテーテル」尖端ヨリ一直線ヲヒキ其線上ニ密迷ヲ單位トセル度盛ヲナシ之ヲ「カテーテル」上ニ平行ニ移セシモノナリ故ニ通氣ノ際ニ鼻翼緣ニ標記セル距離ト幾何學上トノ距離トハ全ク等シキモノニアラズ即チ左ノ如キ關係トナル

即チ第一「カテーテル」ニ於テハ第一圖ノ如ク第二「カテーテル」ニ於テハ第二圖ノ如キ關係トナル
 αヲ「カテーテル」ニテ測リテ得タル數、εヲ求ムル距離、トスレバ

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

即チ夫々 $x = \sqrt{a^2 + 1.5^2}$ 及 $x = \sqrt{a^2 + 1.8^2}$ トナル

第一表 (男性ノ部)

番 號		姓 名		年 齡		右 側		平 均		左 側		平 均		左 右 平 均		軟硬兩蓋 移行部ヨリ 第一門齒 齒槽ノ突 起線迄ノ 距離		懸壺垂基 底部ヨリ 第一門齒 齒槽ノ突 起線迄ノ 距離	
一	黑田	七・三	七・二	七・二五	七・二	七・三	七・二五	七・四五	七・四五	五・四	七・三	五・三	七・〇	六・四	六・八	五・六	五・八	六・二	七・四
二	片倉	七・四	七・五	七・四五	七・五	七・四	七・四五	七・四五	七・四五	五・三	七・〇	五・三	七・〇	六・四	六・八	五・六	五・八	六・二	七・四
三	房間	七・七	七・九	七・八〇	七・七	七・八	七・七五	七・七五	七・七五	六・四	六・八	六・四	六・八	五・六	六・八	五・六	五・八	六・二	七・四
四	野澤	七・七	七・八	七・七五	七・九	七・八	七・八五	七・八五	七・八五	六・四	六・八	六・四	六・八	五・六	六・八	五・六	五・八	六・二	七・四
五	吉野	七・六	七・五	七・五五	七・六	七・五	七・五五	七・五五	七・五五	五・八	七・三	五・八	七・三	五・八	七・三	五・八	五・八	六・二	七・四
六	伊藤	七・〇	七・二	七・一〇	七・二	七・一〇	七・二	七・一〇	七・一〇	五・八	七・三	五・八	七・三	五・八	七・三	五・八	五・八	六・二	七・四

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七
奥山	高井	岡村	高橋	小澤	小松	安藤	西川	石井	稻木	山田	鈴木	菱沼	三澤	松本	小林	橋本	山川	恒川
一九	一九	一九	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一七	一七	一七	一六	一六	一五	一五	一五	一五
八・二	八・四	八・〇	八・四	七・九	八・六	八・三	七・八	七・三	八・四	七・八	七・七	八・二	八・二	七・六	八・三	七・六	七・九	六・八
八・一	八・五	八・〇	八・四	八・〇	八・五	八・二	七・八	七・四	八・四	八・〇	七・九	八・一	七・九	七・六	七・九	七・七	八・二	六・八
八・一五	八・四五	八・〇〇	八・四〇	七・九五	八・五五	八・二五	七・八〇	七・三五	八・四〇	七・九〇	七・八〇	八・一五	八・〇五	七・六〇	八・一〇	七・六五	八・〇五	六・八〇
八・一	八・二	八・〇	八・三	七・九	八・六	八・三	八・〇	七・三	八・三	七・九	七・八	八・五	八・一	七・七	八・三	七・三	七・八	七・二
八・一	八・五	八・〇	八・四	八・一	八・五	八・三	七・九	七・四	八・二	八・〇	七・九	八・二	七・九	七・八	八・二	七・六	七・九	七・三
八・一〇	八・三五	八・〇〇	八・三五	八・〇〇	八・五五	八・三〇	七・九五	七・三五	八・二五	七・九五	七・八五	八・三五	八・〇〇	七・七五	八・二五	七・四五	七・八五	七・二五
八・一三	八・四〇	八・〇〇	八・三八	七・九八	八・五五	八・二八	七・八八	七・三五	八・三三	七・九三	七・八三	八・二五	八・〇三	七・六八	八・一八	七・六〇	七・九五	七・〇三 _{密述}
六・〇	六・二	六・四	六・四	七・〇	七・八	六・三	六・二	六・一	五・九	六・九	五・九	六・一	六・三	六・四	六・一	六・五	六・八	六・二
七・七	八・三	七・八	八・一	七・九	八・五	八・〇	七・八	七・八	七・四	七・九	八・一	七・四	七・八	七・八	七・八	七・〇	七・八	七・四

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

四六

二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四
縮部	吉井	佐々木	栗田	千葉	梶井	太田	榎岸	前澤	富田	松野	小林	中井	吉野	西蓮寺	垣見	藤井	相上	黒石
一九	一九	二〇	二〇	二〇	二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二三	二三
八・二	八・一	八・七	八・一	八・〇	八・一	七・七	八・四	八・三	七・九	八・一	八・二	八・四	八・二	八・三	八・〇	八・〇	八・六	八・二
八・二	七・八	八・六	八・二	八・一	七・九	七・八	八・三	八・三	七・八	八・〇	七・九	八・六	七・九	八・六	八・三	八・一	八・五	七・九
八・二〇	七・九五	八・六五	八・一五	八・〇五	八・〇	七・七五	八・三五	八・三〇	七・八五	八・〇五	八・〇五	八・五〇	八・〇五	八・四五	八・一五	八・〇五	八・五五	八・〇五
八・三	八・一	八・三	八・三	八・一	八・二	七・七	八・三	八・一	七・八	八・一	八・二	八・五	八・一	八・九	七・八	八・一	八・三	七・八
八・二	七・九	八・三	八・二	八・二	八・〇	八・〇	八・四	八・二	八・二	八・二	八・一	八・四	七・九	九・二	八・三	八・二	八・二	八・〇
八・二五	八・〇〇	八・三〇	八・二五	八・一五	八・一〇	七・八五	八・三五	八・一五	八・〇〇	八・一五	八・一〇	八・四五	八・〇〇	九・〇五	八・〇五	八・一五	八・二五	七・九〇
八・二三	七・九八	八・四八	八・二〇	八・一〇	八・〇五	七・八〇	八・三五	八・二三	七・九三	八・一〇	八・一〇	八・四八	八・〇三	八・七五	八・一〇	八・一〇	八・四〇	七・九〇
六・六	七・八	六・二	六・七	六・五	六・五	五・五	七・六	六・一	六・三	六・八	七・二	六・三	五・八	五・一	六・二	七・三	六・七	六・三
七・八	八・五	七・八	七・八	七・三	八・二	七・八	八・六	七・五	七・八	七・五	八・三	八・一	八・一	七・三	七・八	八・五	八・三	八・〇

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

四五	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
藤原	小島	須藤	高梨	齋藤	林	合間	伊藤	長島	弘義	篠崎	高橋	新井	林	村治	杉山	笠本	杉山	松島	松島
二三	二三	二三	二四	二五	二五	二五	二六	二六	二六	二八	二八	二九	三〇	三一	三一	三二	三二	三三	三五
八・三	八・五	七・五	八・五	八・四	八・八	八・二	八・〇	八・一	八・五	八・三	八・〇	八・二	七・九	七・九	八・四	七・九	八・一	八・六	八・六
八・二	八・五	七・八	八・三	八・六	八・八	七・八	七・八	七・九	八・三	八・六	八・一	八・一	八・二	八・〇	八・五	八・二	八・一	八・八	八・八
八・二五	八・五〇	七・六五	八・四〇	八・五〇	八・八〇	八・〇〇	七・九〇	八・〇〇	八・四〇	八・四五	八・〇五	八・一五	八・〇五	七・九五	八・四五	八・〇五	八・一〇	八・七〇	八・七〇
八・三	八・五	七・六	八・六	八・四	八・八	八・一	八・〇	七・九	八・二	八・三	八・〇	八・二	七・八	八・〇	八・一	八・五	八・二	八・三	八・三
八・三	八・四	七・七	八・三	八・六	八・九	七・九	七・九	七・九	八・二	八・三	八・一	八・一	八・三	八・〇	八・二	八・四	八・一	八・八	八・八
八・三〇	八・四五	七・六五	八・四五	八・五〇	八・八五	八・〇〇	七・九五	七・九〇	八・二〇	八・三〇	八・〇五	八・一五	八・〇五	八・〇〇	八・一五	八・四五	八・一五	八・五五	八・五五
八・二八	八・四八	七・六五	六・四三	八・五〇	八・八三	八・〇〇	七・九三	七・九五	八・三〇	八・三八	八・〇五	八・一五	八・〇五	七・九八	八・三〇	八・二五	八・一三	八・六三	八・六三
七・二	五・六	六・五	六・二	五・五	六・三	六・三	六・五	七・二	七・〇	五・八	六・三	六・三	六・三	七・一	六・三	七・四	五・〇	五・八	五・八
八・二	七・五	七・〇	八・二	七・四	八・九	八・八	七・九	八・六	八・一	七・七	七・八	七・八	七・八	八・一	七・九	八・五	八・二	七・一	七・六

四七

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

四八

八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四
横	河	永	宮	荒	佐	杉	公	松	市	村	大	吉	平	館	中	大	永	眞
地	原	澤	澤	井	藤	山	納	島	川	島	木	木	林	田	野	園	田	田
五〇	四八	四六	四六	四四	四四	四三	四二	四二	四一	四〇	三九	三九	三八	三七	三六	三六	三六	三六
八・六	八・一	八・〇	八・三	八・二	九・〇	八・一	九・〇	七・八	八・〇	八・五	八・六	八・七	八・七	八・二	七・九	八・四	八・七	八・七
八・五	八・四	七・四	八・四	七・七	九・〇	八・二	九・〇	八・〇	七・九	八・四	八・七	八・八	八・五	八・二	八・一	八・五	八・六	八・九
八・五五	八・二五	七・七〇	八・三五	七・九五	九・〇〇	八・一五	九・〇〇	七・九〇	七・九五	八・四五	八・六五	八・七五	八・六〇	八・二〇	八・〇〇	八・四五	八・六五	八・八〇
八・八	八・六	七・九	八・二	七・八	九・〇	八・四	八・八	七・九	八・〇	八・五	八・五	八・六	八・七	八・一	八・〇	八・三	八・六	八・六
八・六	八・五	八・五	八・五	八・〇	八・九	八・五	九・〇	八・〇	八・一	八・三	八・七	八・八	八・七	八・〇	八・一	八・三	八・九	八・七
八・七〇	八・五五	七・九〇	八・三五	七・九〇	八・九五	八・四五	八・九〇	七・九五	八・〇五	八・四〇	八・六〇	八・七〇	八・七〇	八・〇五	八・〇五	八・三〇	八・七五	八・六五
八・六三	八・四〇	七・八〇	八・三五	七・九三	八・九八	八・三〇	八・九五	七・九三	八・〇〇	八・四三	八・六三	八・七三	八・六五	八・一三	八・〇三	八・三八	八・七〇	八・七三
七・四	七・六	六・七	六・八	五・七	六・八	六・五	六・五	五・八	六・七	六・七	七・八	六・三	六・〇	六・八	五・八	六・二	六・七	七・六
八・四	八・六	七・八	八・〇	七・七	八・九	八・三	八・七	七・五	七・八	八・五	八・六	七・六	八・〇	七・九	八・二	八・一	八・七	七・八

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

合 計														
	一〇〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七
	篠里	宮澤	森田	高橋	金澤	矢澤	三枝	齋藤	久家	吉木	小泉	後閑	鶴岡	舟羽
	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六
	石橋	村井	鈴本	山本	舟羽	鶴岡	後閑	小泉	吉木	久家	齋藤	三枝	矢澤	金澤
	五一	五二	五三	五四	五六	五七	五七	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
八二四〇八二三四	七・六	八・九	七・八	八・二	八・一	七・六	八・〇	八・〇	八・三	八・八	八・九	八・六	八・三	八・二
	七・八	八・九	八・二	八・三	八・一	七・七	八・一	八・一	八・一	八・三	八・八	八・七	八・〇	八・二
	七・七〇	八・九〇	八・〇〇	八・二五	八・一〇	七・六五	八・〇五	八・〇五	八・三〇	八・八〇	八・七五	八・六五	八・一五	八・二〇
八〇四七八〇二二	七・五	八・八	八・二	八・六	八・〇	七・八	八・五	八・一	八・一	八・四	八・五	八・六	八・三	七・九
	七・七	八・九	八・二	八・五	八・二	七・七	八・五	八・一	八・一	八・四	八・七	八・六	八・二	七・八
	七・六〇	八・八五	八・二〇	八・五五	八・一〇	七・七五	八・五〇	八・一〇	八・一〇	八・四〇	八・六〇	八・四五	八・〇五	七・六五
	七・六五	八・八八	八・一〇	八・四〇	八・一〇	七・七〇	八・二八	八・〇八	八・〇八	八・三五	八・七〇	八・六八	八・五五	八・一〇
四九	六・二	六・三	六・二	六・一	六・八	六・〇	六・八	七・二	七・二	六・九	五・四	五・八	六・八	五・八
	八・二	八・九	六・九	六・六	八・一	七・六	七・九	七・八	七・八	八・一	七・〇	七・六	八・八	七・五

平均	八・一四	八・二三	八・一八	八・〇五	八・一三	八・〇九	八・一四	六・四五	七八七
----	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

年 齡	右側		平均	左側		平均	左右平均	左右平均 四捨五入	軟硬兩蓋 移行部ヨリ 第一門突 齒槽ノ起 齒縁迄ノ距離	懸壺垂基 底部ヨリ 第一門突 齒槽ノ起 齒縁迄ノ距離
	第一カテ 1デル	第二カテ 1デル		第一カテ 1デル	第二カテ 1デル					
一一〇 (二)	七・三五	七・三五	七・三五	七・三五	七・三五	七・三五	七・三五	七・四	五・四	七・二
一一二 (〇二九)	七・九一	七・九一	七・九一	七・九四	七・九四	七・九四	七・九四	七・九	六・二	七・四
一二一 (三〇二七)	八・二〇	八・一八	八・一九	八・一六	八・二二	八・一九	八・一九	八・二	六・五	八・〇
一三一 (四〇一四)	八・三七	八・四五	八・四一	八・三七	八・四五	八・四一	八・四一	八・四	六・五	八・〇
四一 (五〇一〇)	八・三一	八・二五	八・二八	八・三四	八・四六	八・四〇	八・三四	四・三	六・七	八・二
五一 (六〇一二)	八・一八	八・二五	八・一五	八・二五	八・二六	八・二五	八・二三五	八・三	六・五	七・七
六〇 (七〇一六)	八・一五	八・二三	八・一九	七・九五	八・一五	八・〇五	八・一二	八・一	五・八	七・六

番 號	姓 名	年 齡	一 古 川	六
第一カテ 1 テル	第二カテ 1 テル	右 側	六・八	1
平 均	左 側	平 均	六・八〇	六・八
第一カテ 1 テル	第二カテ 1 テル	左右平均	六・八〇	六・八〇
軟硬兩蓋 移動第一門 裏第一齒 底第一齒 懸垂基	移第一門 裏第一齒 底第一齒 懸垂基	軟硬兩蓋 移動第一門 裏第一齒 底第一齒 懸垂基	五・二	五・八

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
杉村	鞍馬	代永	藤田	別府	別府	小倉	小川	伊藤	大西	加藤	中村	加藤	三戸	八島	平也	青木	近藤	山本
七	八	一〇	一〇	一一	一一	一二	一二	一三	一三	一三	一三	一三	一四	一四	一四	一四	一四	一四
六・三	六・九	七・二	六・三	七・一	七・三	七・〇	七・四	八・〇	七・二	七・四	七・二	七・六	七・九	七・三	七・三	七・七	八・〇	七・七
—	—	六・八	六・三	—	六・八	六・八	七・五	七・九	七・三	七・二	七・三	七・二	七・九	七・四	七・四	七・八	八・一	七・六
六・三〇	六・九〇	七・〇〇	六・三〇	七・一〇	七・〇五	六・九〇	七・四五	七・九五	七・二五	七・三〇	七・二五	七・四〇	七・九〇	七・三五	七・三五	七・七五	八・〇五	七・六五
六・一	六・八	七・三	六・七	七・一	七・四	七・〇	七・二	七・八	七・二	七・三	七・二	七・三	七・八	七・四	七・三	七・六	八・一	七・七
—	—	六・六	六・九	—	六・九	六・九	七・五	七・九	七・四	—	七・三	七・三	七・九	七・五	七・四	七・八	八・一	七・七
六・一〇	六・八〇	六・九五	六・八〇	七・一〇	七・一五	六・九五	七・三五	七・八五	七・三〇	七・三〇	七・二五	七・三〇	七・八五	七・四五	七・三五	七・七〇	八・一〇	七・七〇
六・二〇	六・八五	六・九八	六・五五	七・一〇	七・一〇	六・九三	七・四〇	七・九〇	七・二八	七・三〇	七・二五	七・三五	七・八八	七・四〇	七・三五	七・七三	八・〇八	七・六八
四・八	四・九	五・〇	四・〇	五・六	五・四	六・一	五・九	五・八	五・七	五・八	六・三	五・八	六・八	四・五	五・七	六・二	六・三	六・二
五・八	六・九	七・一	五・七	六・六	六・四	六・六	七・三	七・一	六・三	六・六	七・五	六・八	六・九	五・七	七・二	六・五	七・八	六・八

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

五二

三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
市野	高木	高橋	片村	關	杉本	長谷部	石田	永井	前島	高柳	中野	鈴木	五味	幕田	市川	松下	小泉	木村
一九	一九	一九	一九	一九	一八	一八	一八	一八	一七	一七	一七	一七	一六	一六	一六	一六	一六	一五
七・七	七・九	七・五	七・八	七・八	七・七	七・七	七・七	七・九	七・七	七・四	七・七	七・一	七・二	八・〇	七・八	七・五	七・六	七・〇
七・五	七・九	七・六	七・七	七・九	七・五	七・七	七・八	八・〇	七・六	七・三	八・〇	七・三	七・三	八・〇	七・八	七・三	七・八	七・〇
七・六〇	七・九〇	七・五五	七・七五	七・八五	七・六〇	七・七〇	七・七五	七・九五	七・六五	七・三五	七・八五	七・二〇	七・二五	八・〇〇	七・八〇	七・四〇	七・七〇	七・〇〇
七・九	八・二	七・六	七・七	七・八	七・七	七・八	八・〇	七・八	七・八	七・四	七・九	七・二	七・三	八・〇	八・〇	七・六	八・一	七・〇
七・六	八・〇	七・八	七・八	七・八	七・六	七・八	八・一	八・一	七・七	七・三	八・〇	七・二	七・三	八・二	七・九	七・三	七・五	七・〇
七・七五	八・一〇	七・七〇	七・七五	七・八〇	七・六五	七・八〇	八・〇五	七・九五	七・七五	七・三五	七・九五	七・二〇	七・三〇	八・一〇	七・九五	七・四五	七・八〇	七・〇〇
七・六八	八・〇〇	七・六三	七・七五	七・八三	七・六三	七・七五	七・九〇	七・九五	七・七〇	七・三五	七・九〇	七・二〇	七・二八	八・〇五	七・八八	七・四三	七・七五	七・〇〇
五・二	七・四	六・〇	六・七	六・四	六・一	六・四	六・七	五・八	六・〇	五・二	五・五	六・二	六・二	五・二	五・八	六・五	五・八	七・一
六・四	八・〇	七・四	七・七	七・三	六・六	七・五	七・八	八・三	七・三	六・八	七・〇	七・二	七・二	六・五	七・三	六・九	七・六	七・四

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇
田邊	小宮	大須賀	片山	今村	篠崎	石井	寺島	白井	杉山	照井	櫛田	中島	内田	大久保	高橋	座井	高橋	鴻池
二三	二三	二三	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
七・四	七・二	八・四	七・二	七・七	七・七	七・六	八・一	七・二	七・九	七・九	七・六	七・八	七・七	七・九	八・〇	七・六	七・九	七・五
七・四	七・六	八・四	七・三	七・七	七・八	七・五	八・二	七・三	七・五	八・〇	七・七	七・七	七・八	七・八	八・一	七・六	七・八	七・五
七・四〇	七・四〇	八・四〇	七・二五	七・七〇	七・七五	七・五五	八・一五	七・二五	七・七〇	七・九五	七・六五	七・七五	七・七五	七・八五	八・〇五	七・六〇	七・八五	七・五〇
七・六	七・三	八・五	七・二	七・八	七・八	七・八	八・一	七・二	七・七	八・一	七・七	八・八	七・九	七・九	八・一	八・〇	七・六	七・六
七・七	七・六	八・四	七・三	八・九	七・八	七・七	八・三	七・三	七・五	八・〇	七・八	七・八	八・〇	七・九	八・一	八・〇	七・六	七・六
七・六五	七・四五	八・四五	七・二五	七・八五	七・八〇	七・七五	八・二〇	七・二五	七・六〇	八・〇五	七・七五	七・八〇	七・九五	七・九〇	八・一〇	八・〇〇	七・六〇	七・六〇
七・五三	七・四三	八・四三	七・二五	七・七八	七・七八	七・六五	八・一八	七・二五	七・六五	八・〇〇	七・七〇	七・七八	七・八五	七・八八	八・〇八	七・八〇	七・五五	七・五五
六・五	五・三	七・七	六・〇	六・四	六・七	五・二	六・五	六・三	六・二	七・三	六・四	五・八	五・八	五・七	六・五	六・六	六・二	五・五
七・二	七・〇	八・三	七・六	七・五	七・三	六・八	八・一	七・五	六・八	七・九	七・八	七・八	七・三	六・七	七・五	七・四	六・八	七・〇

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

五四

五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七
高橋	赤木	松尾	宇田川	須田	小菅	豐田	須賀	蓮見	新海	福山	荒井	紀井	遠山	阪本	石井	笹谷	中村	澤部
二四	二四	二四	二五	二五	二五	二五	二六	二六	二七	二九	三〇	三〇	三〇	三三	三三	三三	三三	三四
七・五	七・二	七・七	七・八	八・一	七・四	八・一	八・六	八・〇	七・七	八・〇	七・八	八・〇	七・七	七・九	七・八	七・八	八・四	八・二
七・六	七・〇	七・六	八・一	八・一	七・三	八・一	八・七	七・九	七・六	七・九	七・九	七・九	七・五	八・二	八・三	七・七	八・四	八・三
七・五五	七・一〇	七・六五	七・九五	八・一〇	七・三五	八・一〇	八・六五	七・八五	七・六五	七・九五	七・八五	七・九五	七・六〇	八・〇五	八・〇五	七・七五	八・四〇	八・二五
七・四	七・二	七・八	八・二	八・一	七・六	八・一	八・五	七・九	七・七	八・〇	七・七	八・〇	七・六	七・九	八・二	七・八	八・五	八・〇
七・七	七・二	七・七	八・二	八・一	七・六	八・一	八・八	八・〇	七・七	七・九	七・九	八・〇	七・三	八・一	—	八・七	七・九	七・九
七・五五	七・二〇	七・七五	八・二〇	八・一〇	七・六〇	八・一〇	八・六五	七・九五	七・七〇	七・九五	七・八〇	八・〇〇	七・四五	八・〇〇	八・二〇	七・八〇	八・六〇	七・九五
七・五五	七・一五	七・七〇	八・〇八	八・一〇	七・四八	八・一〇	八・六五	七・九〇	七・六八	七・九五	七・八三	七・九八	七・五三	八・〇三	八・一三	七・七八	八・五〇	八・一〇
六・五	六・四	六・五	六・二	六・一	六・一	六・一	六・七	六・七	六・七	六・三	五・八	六・五	六・二	六・五	六・三	六・七	六・一	六・三
七・八	六・九	七・四	八・二	七・八	七・二	七・五	八・一	七・七	七・七	七・五	七・八	八・〇	八・一	八・二	七・二	八・〇	八・〇	六・八

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル距離ニ就テ(小山)

九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八
中	横	萩	田	田	松	山	松	内	金	澤	松	佐	澤	星	關	松	白	平
西	山	原	村	村	本	本	本	田	子	部	田	藤	部	野	野	井	井	林
四八	四七	四三	四二	四二	四一	四〇	四〇	四〇	三九	三九	三八	三八	三七	三七	三五	三五	三五	三五
七・六	七・五	八・一	七・六	七・六	八・二	八・〇	八・一	七・四	八・四	八・三	八・一	八・四	八・二	八・一	七・八	七・九	八・〇	八・〇
七・六	七・五	八・二	七・七	七・七	八・一	八・一	八・一	七・四	八・五	八・二	七・九	八・六	八・〇	七・九	七・六	七・七	七・八	七・八
七・六〇	七・五〇	八・一五	七・六五	七・六五	八・一五	八・〇五	八・一〇	七・四〇	八・四五	八・二五	八・〇〇	八・五〇	八・一〇	八・〇〇	七・七〇	七・八〇	七・九〇	七・九〇
七・六	七・八	八・一	八・一	八・一	八・三	八・一	七・八	七・三	八・六	八・一	八・二	八・五	八・〇	八・〇	七・七	七・八	七・九	七・九
七・六	七・五	八・一	八・〇	七・八	八・二	八・二	八・一	七・三	八・五	七・九	八・五	八・一	八・〇	七・六	七・八	七・九	七・九	七・九
七・六〇	七・六五	八・一〇	八・〇五	七・九五	八・二五	八・一五	七・九五	七・三〇	八・五五	八・〇〇	八・二〇	八・五〇	八・〇五	七・六五	七・八〇	七・九〇	七・九〇	七・九〇
七・六〇	七・五八	八・一三	七・八五	七・八〇	八・二〇	八・一〇	八・〇三	七・三五	八・五〇	八・一三	八・一〇	八・五〇	八・〇八	七・六八	七・八〇	七・九〇	七・九〇	七・九〇
六・八	六・五	六・八	六・〇	六・〇	六・三	五・六	六・四	五・八	六・五	六・三	六・二	七・五	六・七	五・八	七・三	五・九	五・三	六・八
八・〇	七・五	七・八	七・六	七・六	八・一	七・三	八・〇	七・六	八・〇	七・九	七・八	八・二	八・〇	七・八	七・六	七・七	六・八	七・二

五五

平 均	合 計	一〇〇	九九	九八	九七
		石 川	荒 井	反 情	宮 田
		五六	五二	五二	五一
七・七四	七・七四三	七・四	七・七	七・六	七・二
七・七一	七・四〇三	七・四	七・五	七・五	七・四
七・七三		七・四〇	七・六〇	七・五五	七・三〇
七・七二	七・六四一	七・五	七・七	七・七	七・三
七・七三	七・〇六〇	七・六	七・六	七・六	七・四
七・七二		七・五五	七・六五	七・六五	七・三五
七・七二五		七・四八	七・六三	七・六〇	七・三三
六・〇七	六・〇七三	六・三	六・二	五・八	六・六
七・二七	七・二七三	七・八	七・八	七・三	七・八

第五表 男女ノ左右平均數ヲ各對照スレバ

年齡	右	左	右	左
一一〇	七・四	七・四	六・六	六・七
一一二〇	七・九	七・九	七・六	七・六
一一三〇	八・二	八・二	七・八	七・八
一一四〇	八・四	八・四	八・〇	八・〇
一一五〇	八・三	八・四	七・八	七・九
一一六〇	八・二	八・三	七・五	七・六
一一七〇	八・二	八・一		

第六表 左右平均數ヲ對照スレバ

年齡	男	女	差
一一〇	七・四〇	六・七〇	〇・七
一一二〇	七・九〇	七・三〇	〇・六
一一三〇	八・二〇	七・八〇	〇・四
一一四〇	八・四〇	八・〇〇	〇・四
一一五〇	八・三五	七・九〇	〇・四
一一六〇	八・二五	七・五五	〇・七
一一七〇	八・一五		

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

○原著—本邦人ノ鼻腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口ニ至ル臨牀上ニ於ケル距離ニ就テ(小山)

五八

第七表 男性六歳ヨリ六十八歳迄百人ノ中及ビ女性六歳ヨリ五十六歳迄ノ人中ノ最大、最小數ヲ比較對照スレバ

最 大 數	男		女	
	最 大 數	差	最 大 數	差
最 小 數	八・九八	〇・四三	八・五	〇・七七
	七・〇三	六・二	六・二	〇・七七

結 論

一、男性百名(六歳ヨリ六十八歳迄)ノ左右ノ平均距離八・一ニシテ女性百名(六歳ヨリ五十八歳迄)ノ左右平均距離七・七ニ比シテ〇・四密迷ノ差アリ(第一及第三表參照)

二、前記男女二百名ノ内最大數ハ男子ノ八・九八仙迷ニシテ最小數ハ女子ノ七・〇三仙迷即チ七乃至九仙迷ナルコト換言スレバ二仙迷以上ノ差ヲ見出サザルコト

三、男女兩性共三十一歳ヨリ四十歳迄ノ間ニ於テ距離ノ大ナルコト其前後ハ共ニ小ナルコト(第二及第四表參照)

四、男女共各左右ノ平均數ハ殆ンド差ヲ認メザルコト(第五表參照)

五、男女共二十歳以下五十歳以上ニ於テハ二十一歳以上五十歳迄ニ於ケルヨリモ距離ノ差大ナルコト

(第六表參照)

六、イタルド氏ノ方法（即チ懸壺垂底部ヨリ第一門齒齒槽突起縁ニ至ル距離ヲ以テ鼻咽腔入口部ヨリ歐氏管咽頭口部迄ノ距離ノ參考トナスコトヲ得）ニヨリテ得タル結果ハ本邦人ニ於テモ略一致セルヲ見出スコトヲ得ルモルーツエ氏ノ方法（即チ軟硬兩蓋移行部ヨリ第一門齒齒槽突起縁ニ至ル距離）ハ本邦人ニ於テハ適用シ能ハザルコトヲ知ル

終リニ臨ミ恩師岡田博士ノ懇篤ナル指導ヲ感謝ス

喉頭「リポーム」ノ症例追加

Zur Kasuistik vom Lipom des Kehlkopfes.

黒岩 福三郎

「リポーム」ノ發生スベキ局處トシテ、喉頭ハ稀有ナル位置ノ一ニ屬ス、一八九六年 Gerhardt 氏ハ、同症ノ一〇例ヲ蒐集セリ、其後十年間ハ是カ症例的報告ノ加ルモノ無クシテ、反テ其數ヲ減セルガ如キ觀アリ、即 Jurasz (1898) O. Chiari 氏 (1905) 等ガ各其著書ニ引用セルトコロノモノハ九症例ナリ、獨リ Schech 氏 (1903) ハゲルハルトニ贊シ一〇例ト爲セリ、今ユラースノ舉示セシ人々ヲ見ルニ、v. Bruns, E. Wagner, Schrötter, Mc Bride, Hohlbeck, Jones, Köhler (Untersucht und berichtet von

○原著「喉頭「リポーム」ノ症例追加（黒岩）